



平成 18 年 4 月 10 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 テ イ ツ ー 代表者の役職名 代表取締役社長 大橋 康宏 (JASDAQ・コード 7610) 問い合わせ先 執行役員経営企画部長 片山 靖浩 電 話 番 号 03-5408-5100(代表)

平成19年2月期3月度の概況についてのお知らせ

平成19年2月期3月度の概況について、下記のとおり集計ができましたのでお知らせいたします。

記

1. 単体売上高速報

(百万円)

	3月	4月	5月	1 Q	6月	7月	8月	2 Q	上半期	
売上高	3,543									
対前年同月増減率	41.0%									
	9月	10月	11月	3 Q	12月	1月	2月	4 Q	下半期	年度累計
売上高										
対前年同月増減率										

2. 事業セグメント別 既存店売上高速報(対前年同月増減率)

	3月	4月	5月	1 Q	6月	7月	8月	2 Q	上半期	
古本市場事業	31.8%									
アイ・カフェ事業	7.2%									
EC事業	11.2%									
(EC売上)	16.9%									
(トナー売上)	-7.3%									
(その他売上)	-41.4%									
	9月	10月	11月	3 Q	12月	1月	2月	4 Q	下半期	年度累計
古本市場事業										
アイ・カフェ事業										
EC事業										
(EC売上)										
(トナー売上)										
(その他売上)										

- (注)・事業セグメント別既存店売上高速報には連結対象子会社の売上高も含まれているため、「1」の単体売上高の 対前年同月増減率とは連動いたしません。
 - ・アイ・カフェ事業は、㈱テイツーおよび連結対象子会社の㈱アイ・カフェ運営の直営店の合計値であります。
 - ・EC事業は、連結対象子会社の㈱ユーブックの売上高の対前年同月増減率を記載しております。
 - ・既存店は、開店後13ヶ月目からを既存店舗と定義しております。

3. 営業概況

3 月度は、人気タイトルの発売により新品ゲーム、新品CDの売上高が好調に推移したほか、アイ・カフェ既存店の売上高も順調に推移しており、テイツー単体売上高は対前年同月比 41.0% 増の 3,543 百万円となりました。

古本市場事業の既存店売上高につきましては、「ファイナルファンタジー II」のヒットにより新品ゲームの売上が大きく拡大したほか、「KAT-TUN」、「倖田來未」の新アルバムなどの発売により新品CDも好調に推移いたしました。こうした結果、古本市場事業の既存店売上高は対前年同月比31.8%増と大きく拡大いたしました。

アイ・カフェ事業につきましては、古本市場との併設店舗において「ファイナルファンタジー II」の発売に合わせた共同販促キャンペーンを実施したほか、入学・就職などで新生活を開始する人の多い季節であることから新規会員の獲得に注力いたしました結果、アイ・カフェ事業の既存店売上高は対前年同月比7.2%増となりました。

E C 事業につきましては、モバイルサイトを中心とした会員数の増加や、買取の際の査定価格を 100 名ごとに 1 人 10 倍とさせていただくという、買取強化キャンペーン実施の効果などにより E C 売上が拡大し、 E C 事業の売上高は対前年同月比 11.2%増となりました。

4. 出退店の状況

	06/2 末店舗数	出店数	退店数	06/3 末店舗数
古本市場事業	1 1 3	0	2	1 1 1
(古本市場直営店)	7 8	0	0	7 8
(古本市場業務提携・FC店)	3 0	0	2	2 8
(ブック・スクウェア)	5	0	0	5
アイ・カフェ事業	2 4	0	0	2 4
(直営店)	1 2	0	0	1 2
(FC店)	1 2	0	0	1 2
合計	1 3 7	0	2	1 3 5

(注)売上高は、公表日までのデータに基づいた速報ベースであり、修正される可能性があります。 また、監査法人による会計監査は受けておりません。